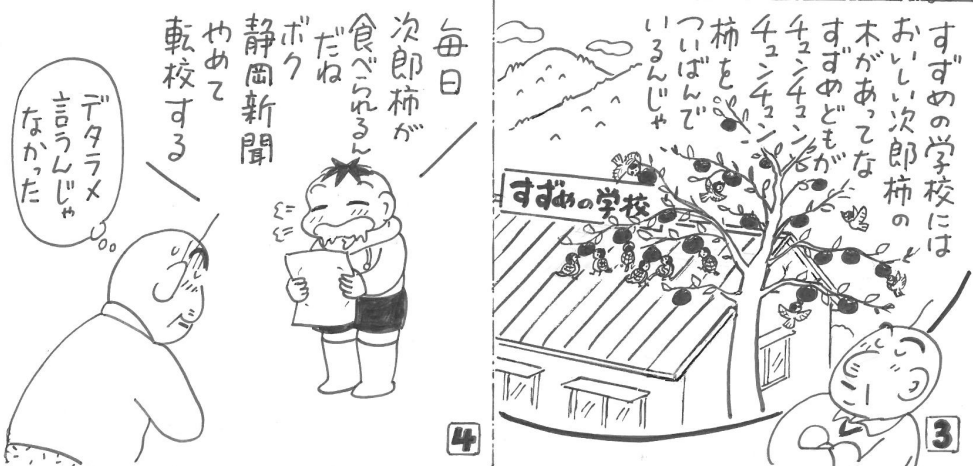


めだかの学校だより

おもしろい・き・ん・ん

令和3年12月1日
2021.12. 特別号
学舎：磐田市敷地
「旧豊岡東小学校」
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL:0539-62-6691



こんなん出来ちゃったけど(ゴンちゃんの外編) よろしいでしょうか? (笑)
なりとぞ よはに... だって。 かまち

29期の逢年テーマは

『01 ニューめだか ショウタイム...?』
逢年テーマは 臨機応変?! 笑ってわらって前向きで...ですよね。
いろんなものが変わっても、大切なものが変わらなければいい?!

「めだかの学校」は、今年ももうないです。

複数の「めだか生」の方から「今年はないにして、来年の3月にすっきりしてゆろう!」
の提言があり。うん... そうだね。それを受けとめて...

『今年中は「なし」にしました。』

「第14回めだかの学校」は、来年の3月に開校することにしました。
そう延期です。テーマ、授業、先生も第13回の内容と同じにしました。
校長は野村藤子さん、教頭は村山勝貞さん、用務員は横山忠志さんです。
よろしくです。

さて、今回の「めだかの学校だより」は、『2021.12 特別号』にしました。

ちよつと遊んで1面は、静岡新聞朝刊4コママンガ「ゴンちゃん」の著者の
かまちよろろうさんが書いてくれました。『ごめん、予算ないんだけど...』
でも喜んで書いてくれました。絵をみたときは、大感激でした。感謝!(ハウ)

めだかの動き 泳ぎ回るめだかたち

■農家と共に…思い出

昭和20年8月、敗戦により町中は焼け野原と化し、衣食住はすべて失った。中でも食べ物だけはすぐ必要。昭和23年、国と県と共同事業として「農業・生活改善」を目的に各県「農政部」に席を置き、担当地域に出向いて直接農民と接し、地域に即した課題活動をして来た。私は昭和32年、静岡県「農政部」に席を置き、担当地域の農家の方々と直接話し合い解決したい課題を進めてきた。

昭和52年豊岡村（現磐田市）は、すでに「豊岡総合センター」を中心とした活動が充実しており、農家の方々もそれぞれ部会毎に熱心に活動していた。その頃の藤森村長は、国の農林水産技術会議委員でもあり、国と連携も密で、「ご自分の用が済むと、必ず各課を回り声をかけていたそうです。私達が直接研修等で世話になる生活改善課長にも、いつもの様に「オツ」と声をかけられ、国の事業で10県が予定している『今後の農村にどのような施設が必要かの実験事業』を「その場でやることを決めてきた」とのこと。私もこの事業は聞いていたのだけれど、早速農家の方々、県や役場の方々の協力で、実態調査から巡回、アンケート等をまとめて、出来た施設が『農村改善センター』です。

そこでは「生活相談」「農産物加工料理実験室、転作大豆を使った味噌加工施設」、数多い出荷後の農産物の有効利用で漬物・缶詰・びん詰・ジャム等の加工施設、また当時出回っていた「アクリル毛布」「こたつ掛け」などの「大物が洗える洗濯機施設」等々を設置。全国実験事業なので各地様々、お互い各県からの視察も多く、増して豊岡村独自の「豊岡富士、菓草公園、健康管理センター研修会館」等々が並んで出来た『改善センター』だった。県内でも三ヶ日農協はいち早く導入、県内各農協等へと普及している。現在は『改善センター』はとり払われて何も無いが、私の永い間の活動の中で忘れられない思い出のひとつです。（今村純子メダカ）

■旅する蝶 アサギマダラにはまっています

最近ではアサギマダラにはまっています。川根町に「ふじばかま」を提供し、栽培方法のアドバイスを始めました。川根町の広報紙桜町便に「秋の観光資源がなかった川根を、春の『桜とSL』、秋の『アサギマダラとSL』の2本の柱に、大井川鉄道の線路脇に「ふじばかま」を植えました。他に川根小学校、中学校、パラグライダー場に植え、『アサギマダラの舞う里』構想の実現を目指します」だって。

この神秘の蝶アサギマダラは「一期一会」の出会いですが、貴重な人との出会いを与えてくれた気がします。最初に苗をくださった静岡の方、ふじばかまとアサギマダラの研究をしている先生方、今年植えた苗の提供とご指導くださった掛川の大切な方達、全ては旅する蝶アサギマダラが引き合わせてくれた気がします。10月にはステンドグラスのような神秘的なアサギマダラに是非、川根町に来てください。既に「ふじばかま」を提供し、お手伝いしている掛川市倉真の真砂館周辺には今年も10月上旬から多くのアサギマダラが飛来し、たくさんの人たちが見学に来ています。来年を楽しみにしてくださいね。（鳥山剛メダカ）

『人・ひと・ヒト』…だより

●袋井市の山中幸子メダカ。空蝉（うつせみ）や背（せ）を裂（さ）きなほも幹（みき）つかみ”幸子（俳句入門2年生）。蝉の抜け殻が生葉に？。蝉の抜け殻を使った蝉退（セネタイ）という漢方薬に関しては日本でも作られていたとの事。抜け殻にキチン質とあって動物性の食物繊維で免疫強化があると云われます。快療法の先生の元へ通いました折、蝉の抜け殻を漢方薬として利用することを知りました。知人に声を掛けますと、夏になると蝉取りならぬ抜け殻を見つめるのが夫婦の楽しみになっているそうです。小学校の放課後クラブにもその輪が広がって、今年はずっと集まりました。喜んで協力して下さった皆様に感謝！感謝！。蝉の抜け殻は東京へ、品名蘭は『空蝉』と書いて送りました。病める人のお役に立つ事を願いつつ…。コロナ禍の中、喜びの種まき…の一幕。だって、いや〜そんなの、初めて知ったヨ。我が家では毎年5、6個の抜け殻をみつけるけど足りないね（笑）。

●浜松市の白尾恂メダカ。色々とながくらめらっていたが、やっと9月と10月で遅ればせながらワクチン接種を済ませました。一度目はなんともなく、2回目の時に37度4分の微熱が出ましたが、すぐ治りましたのでほっとしています。これだけ長期世界中で同時に困難な問題が起きてくる事に対して最後は個人で免疫力を高めていくしかないのかな、と自問自答しています。早く治まれ新型コロナ、だつて。ほんとだね。あつ、蝉の抜け殻で免疫力高めたら!?もう秋、ムリか、抜け殻ないもんね。残念でした（笑）。

●静岡市の西島朋子メダカ。いつもいつもお世話になっております。運営の継続は言

うに言われぬご苦労の連続、お察しいたします。感謝しかありません。それなのに手続きが遅くなったり、迷惑をかけたりでごめんなさい。「めだか春秋」載せさせて頂き有難うございます。私の名前記載なく、だれの文章かわかりませんね。私も当然そちらで書いてくれるばかりと思つて原稿の中に自分の名前入れなかつたのですね。私のミスでもあります。天候不順の日々、ご自愛を！だって。エッ、名前なかつた？。ごめん。ホントだ。つきり入っていると思つちやた。失礼いたしました。第113回めだか春秋は、西島朋子メダカです。よろしくです。ハイ。

●磐田市の田村進治メダカ。今年の夏はコロナ禍のため巣ごもりの毎日。「こんなことではボケちゃうよ」と一念発起。自宅の敷地に15年ほど前に建てた小さな小屋がある。それを改装しようとして8月下旬から手掛ける。暑さにも負けず10月上旬には完成！ぜひ遊びに来てください。だって。いやいや小屋どころか立派な家ですヨ。それもほとんどご自分ひとりで建てた、大工さん顔負けの家。それを改装、さすが棟梁！な〜んちゃって。

●磐田市の鈴木祐之メダカ。磐田市新型コロナ対策センター集団接種のお手伝い。磐田市薬剤師会の一員として2週間に一回行つても10月下旬までかかる予定です。市民の安全安心のために医療人のがんばりどころです。だって。ワクチン接種も早く終わるといいですね。でも3回接種が必要とのこともあり、まだまだお世話になりますね。感謝！です。ハイ。

●横浜の山根圭二メダカ。めだか大学学長小嶋良之。発展されては。29期通年テーマ「言葉が語り掛けるもの、とは」（※これ113回のテーマです）〜ワーアシゲキ、

受け得だです。事務局長さん、アマエビちゃんに相当イレアゲテらっしゃる拍手させてくださいませ、だって。まだいろいろ書いてくれるけど、ありがとう！それにしても第113回休校、第114回は来年3月に。授業がなかなかできず残念でございませよ。ハイ。

●静岡市の水野忠義メダカ。「今日は人生の最初の日」だ！。(※エツ、これってどういうこと?)。「めだか第114回」は「イイヨ」だネ。「めだま」?となって水面にとび出そうヨ！仲間たちと待っています！。なんちゃってサ！我ハバラ大王のファンなので「不安」！なり、以上です、だって。※異常な駄ジャレ王杖つきシルバージジイ水野ター坊より、と。アマエビちゃん可愛いナ！とも。アマエビちゃんじゃなくて、アマエビちゃんです。最後までダジャレ楽しいね(笑)。

●磐田市の伊藤英雄メダカ。ケ・イ・ゾク。何とか続けてクダサイ！、だって時々情報くれないと、めだかの便り“できないヨ！”です。ハイ。(笑)

●浜松市の大谷洋介メダカ。末ながく続くことを望む！入会して20年以上経って来ている。良き友、良き知人を得、楽しい人生を歩んで来ました。まさしく出会いですネ。バラさん、送るのを忘れていた、とりあえずFAXでは困るけど、連絡してくれただけでも嬉しいヨ。今度入校金いただくよ(笑)。

●千葉県習志野市の市原実メダカ。コロナ感染防止で外出できません。「めだかの学校」の生徒の皆さんの声を聞いてよいです。手紙(会報)によるお知らせは、手間、ヒマ、費用もかかります。ゼビネットによるお知らせを期待しています。(ZOOMという方法も世の中広がっていますが…ご検討を)、だって。ごめんねえ、LINEやFB

もやり始めたがそれもねえ。まいつちやつてる(笑)。

●磐田市の島田尚子メダカ。「めだかの学校だより」を毎回楽しみにしています。テレビや一般の新聞から得られない、身近な人々の思い、出来事など直接触れることができるような感覚で読んでいます。ネットで発信というような声もあるようですが、私自身は活字に目を止め、そこから浮かぶ映像や思いなどを(これは私の個人的な受け取りの中でのことですが)感じ取って読んでいくことが好きです。“紙”がいいんですね。ある言葉が目を引き、ある文章が心に引っかかる、それが紙の上にあるからこそ、目を止め、そして考えを巡らせていく、そんなやり方が私には合っています。だって。私も紙が大好き！新聞社にいたことと繋がってるからかな(笑)。でも昨年からはスマホを手にしてLINEやFBをやっているが、レクチャー受けてもすぐどこかへいってしまふ。まいつちやうね。FBをのぞくと、多くの「めだか生」が日常を発信している。チヨコチヨコ、いいねとか、コメントを返信してるのですが…、ハイ。

●南足柄市の溝口久メダカ。LINEで名刺が届きました。若き橋本町長のチャレンジングに応えなくては、任期は今年度末です。全力で走ります、だって。4種類色別の名刺には、茨城県境町参与、一級建築士溝口久。住所も連絡先も。住所は今までと同じ南足柄市です。

●埼玉県所沢市の木村智子メダカ。こちらはFBで。48年前お父さんの柴田芳明メダカが浜松市富塚町に開店された「侘ッラワーセンター若草」を2010年に譲り受けたが、「両親が亡くなられたこともあって花屋さんはやめ、妹さんがカフェを営んでいる。業務内容も変わっていることもあって、法人名を侘ッマイルプラスに変更

する、と。智子メダカはフラワーコーディネートーターとして埼玉県内外で活躍しているが、時々帰ってきては妹さんのお手伝いをしてる。『人と人との笑顔』が「C・カフェ」のコンセプトかな。

●東京久留女市の菅原欽一メダカ。原稿送りました。10月14日に「冠動脈バイパス」手術を受けたので延期になってむしろほっとしています。入院中に何度も武ちゃんのお顔が浮かびました。来年は元気になってお会いできると思います、だって。無事手術も終わって良かったですね。お年になるといろいろなものが出てきます。私は5年前に心筋梗塞をやりました。「もう少し遅れたら…」と先生に言われた、だって。今は元氣溼刺です。カラ元気ですが。ごめん、原稿見あたらず。次回第114回めだかの便りで載せますね。

※「かがり火」200号は、10月発行予定が来年になりました。

●浜松市の中村明男メダカ。行動範囲10キロ圏内をキョロキョロ。めだかには程遠い日々が続きます。メディアを含め、高齢者の文字が目に入るこの頃、逆によし、あと10年やったるかと気持ちを引き締めての昨今です。熱中するもの(テニス、版画、陶芸等)。初心に還り、じっくり攻める。家族サポート最優先に。そのためには体力維持、ジムトレ欠かせません。その中、いとこ会がLINEで9月スタートしました。繋がりが強化です、だって。老いて益々元気！いいねえ。老いては余分ですね、ごめん。

●浜松市の中村やす代メダカ。一身上の都合で退学させていただきます。8年前入学して以来、毎回ステキな切手と榊原さんの顔が見える一筆箋が楽しみでした。特に時々載せて頂いた「めだかの便り」は本当にうれしかったです。もちろん授業もGOOD。

渡辺チーフにも宜しくお伝え下さい、だって。給食当番、いつも率先やってくれたものね。こちらも感謝しています。

●滋賀県栗東市の太田宜子メダカ。ごぶさたしています。めだかの学校、お元気で前向きな先輩方の記事を拝見し、すごいなアと思っております。今期は既に手続きしなくて自主退学)公私共に忙しくてお休みさせていただきます、だって。ハガキ道仲間の山根圭二メダカに紹介されて入校。ありがとう！お元氣で！

●千葉市の鈴木厚生さん。「めだかの学校だより」ありがとうございます。菅原さんが話されるとのことで、勝手ながらモグリで聴講させていただきます。いや、ごめんなさい。来年の3月までお預けです。楽しみにお待ちください(笑)。

●藤枝市の横山貴代美さん。(故浩史メダカの奥様)。いつも「めだかの学校だより」をご送付下さりありがとうございます。おかげさまで去る9月18日に三年祭りを迎え、以前頂いた25年記念誌のコピーを夫の言葉として出席して下さった皆様に渡すことができました。『生き生き活動している姿が浮かぶね』と有難い言葉を下さる方もいらして、改めてめだかの学校の皆さまに感謝しております、と。このようなお手紙をいただく、めだかの学校をやっている良かった。いつまで続けていけるかなア。頭をかかえることもありませう(笑)。

もっともっと載せたかったのですが、紙面の都合で今回はこれまで。次回はあなたの番ですヨ。お便りを！

× × × × × × ×

トピックス

■みち草はおもしろい!

第112回めだかの学校は、旧豊岡小学校で行われました。初めての場所ということで、入り口付近で車を誘導している。「里山公園はこちらですか」と何人かのハイカーらしき人達に声を掛けられました。気になり、私も学校帰りに「みち草」を試してみました。体育館から奥に続く道を登っていくと、それはそれは見事な紫陽花が、山の斜面いっぱい咲き乱れていました。駐車場から数分登るだけの気軽さと、秘密の花園に迷い込んだような美しい景観に私はすっかり魅了されてしまいました。夏のカサブランカと、秋のゴールドデンピラミッドの時期には、山の上で童謡コンサートを開催しました。花々を眺めながら山の上で歌うのは最高の気分でした。「敷地里山公園」は四季折々の花を始め1年を通して楽しめます。次回コンサートは花桃の頃に開催予定。1年じつくり通って「敷地里山公園のうた」を書きたいと思っています。



(埋田千聡メダカ)



■事務局だより

♪村の鎮守の神様の今日はめでたいお祭り日。ドンドンヒヤララドンドンヒヤララ♪今年も新型コロナウイルスの関係で、多くの神社がお祭りを縮小し、役員のみで神事を行う所が多かったようですね。私のところも小さな神社ですが、役員のみが神事をして各戸にお菓子が配られました。淋しいですね。

10月下旬、衆議院議員選挙で、選挙カーが走り回っていました。街頭演説して、車から手をふって、降りてグータッチして：にぎやかでした。10月31日投票、即日開票。めだか生からは磐田市の自民党の宮澤博行、立憲民主党の小山展弘、浜松市からは自民党の城内実。3人も当選。選挙中の新聞の記事で「どんな大臣になりたいですか?」の問いに、宮澤メダカは防衛大臣、小山メダカは農林水産大臣が厚生労働大臣、城内メダカは農林水産大臣、外務大臣と思ったのですが：『めだかの学校だより特別号』が届く頃には議員バッチをつけて頑張っているでしょう。

新型コロナウイルスの方は、ワクチン接種が効いたのか大幅に減少へ。緊急事態宣言も解除され、大きく舵を切って日常生活に戻られつつある。でもあまりに浮かれすぎると6波が打ち寄せる可能性だってある。手洗い、マスク、3密はこれからも心しなければ：と思うことしきりです。

さて、めだかの学校に戻ると、第29期1回目の「第113回めだかの学校」は9月4日(土)、校長小嶋良之、教頭山中幸子、用務員横山忠志。通年テーマは『Ohニューめだか ショウタイム：?』、第113回のテーマは『言葉があたりかけるもの、とは』。授業は期初特別授業として「かがり火」の菅原敏一先生の「社会 おもうがままに：」。長年にわたり隔月で発行し

つづけてきた「かがり火」の休刊。その心境を聞きたい：とお願いしました。学舎はコロナの関係もあり、第112回と同じ磐田市敷地の旧豊岡東小学校の体育館。「めだかの学校だより」では、開校内容で発送したが、事態は急変!。静岡県も「緊急事態宣言」対象になり、急遽迫ってハガキにて「休校」を連絡。かわいいアマビエちゃんとの絵と共に、お願いも。はい人からは「出欠席」の返事が10数通。ここ2年はコロナに振り回されて悩むことしきり。

「第114回めだかの学校」は12月5日。9月下旬、いつものように「めだかの学校」の職員会議の日程調整をしていると、複数の生徒から「今年のめだかの学校はやめた方がいいのでは、来年の3月にスッキリしてやろうよ」の提言があり、少し考えさせてもらって「やめる」ことを決断しました。そのあとコロナ感染はワクチン接種の効果が出て大幅にダウンし始め、県内でも「0」の日が多くなった。気持ちは揺れ動くが「すでに決まっていること」と腹をくくる。「第114回めだかの学校」は、来年3月開校ですすめる。校長野村諒子、教頭秋山勝則、用務員横山忠志。

「めだかの学校だより」は、『2021.12月特別号』として発行します。3役がない。1面の校長訓話のところが無い。マイッタ!。なにかほんわかした楽しいものがいい：うくん：うくん：ありました! マンガ家のかまちょろろさん。『ごめん、予算なんにもないけど、お願い絵をかいてください。内容はおまかせ、1面の上2段で』と手紙を書く。あまりにもズーらしく。数日後「かいたよ。郵便で送るね」と電話が。いや〜大感激!。翌日レターパックライトで手紙と一緒に。4コママンガ『ゴンちゃん番外編』が。うちの明美さんも大感激!。「うちの絵もかいてもらい

たい」という始末(笑)。上段は手書きのマンガ絵、下段も手書きでない。ああでもない、こうでもない、ノートに書いて書いて書いて。『よっしゃ、これでよし!』。その日にレターパックライトで間瀬亮太メダカに、原画と書き文字と割り付けを郵送する。さして、残りの2〜4面は、思いのほか原稿は届かず、きた原稿と、29期の申込書と、LINEやFBをのぞく。その中からこれというものをノートに書きだして、コメントを書いて：。

みなさん、今度の『めだかの学校だより特別号』を見てどのように感じましたか?。来年3月の「第114回めだかの学校だより」で掲載したいと思います。感想はハガキかFAXで、またはLINEで送って下さい。FBはちよつとこめんです。長く書きたい人はメールで締切りは1月15日です。

《mabuchi-trd@y. tnc. ne. jp》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(メールの方は割付の関係もあるので「一報を」)

■特別号がんばりました

特別号にご協力くださった石野省三メダカ、田村進治メダカ、水島加寿代メダカ、かまちょろろメダカ、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さんありがとうございました。

■めだかの学校の事務局

〒438・0105静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39・62・6691 (FAX同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一
宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午後4時以降のみ使
携帯 080・1612・9130

